

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
山形県最上町	H20～H22

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
農林課	0233(43)2111	0233(43)2345	nourin@mogami.tv

【記入要領】

計画主体名

・市町村名にはふりがなをふること

計画期間

・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。

連絡先

・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

メールアドレス

・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
交流人口の増加	198.72%	計画区域における交流人口の増加(%)=計画期間内の計画区域外からの入込客数(人)(目標)÷計画期間前の計画区域外からの入込客数(人)(現状)×100-100 198.72%=2,100人(目標)÷703人(現状)×100-100
事業活用活性化計画目標の設定根拠 1. 計画期間前の来訪者数【現状】 平成17年 61人 平成18年 234人 平成19年 408人 過去3年間の来訪者数 61+234+408=703人 2. 計画期間内の来訪者数【見込み】 平成20年 580人 平成21年 700人 平成22年 820人 今後3年間の来訪者数(見込み) 580+700+820=2,100人		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
事業活用活性化計画目標の設定根拠		

【記入要領】

事業活用活性化計画目標

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・事業活用活性化計画目標の項目は農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。
- ・事業活用活性化計画目標の記載にあたっては「事業活用活性化計画目標の設定について」により記入すること。

Ⅲ 優先枠を活用する事業に関する事項

(交付対象事業別概要)

優先枠の種類	優先枠指標	増加率等	増加率等の算出
1 輸出促進緊急条件整備事業優先枠 2 農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠	該当なし		
優先枠指標の設定根拠			
事業メニュー名	地区名	事業内容と優先枠指標との関連性	
優先枠の種類	優先枠指標	増加率等	増加率等の算出
1 輸出促進緊急条件整備事業優先枠 2 農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠			
優先枠成果指標の設定根拠			
事業メニュー名	地区名	事業内容と優先枠指標との関連性	

【記入要領】

- 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- 優先枠を活用する事業とは、予算の優先枠(輸出促進緊急条件整備事業優先枠、農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠)の対象となる事業であり、具体的には、輸出の促進に関連する事業及び実施要領の別表1の事業メニュー番号10、33、34、37、38、43又は45であって要件別番号9、21、23又は25を満たすものがその対象となる。
- 優先枠事業を実施しようとする場合には、以下のいずれかの優先枠指標を記入すること。
 - (輸出促進緊急条件整備事業優先枠)

$$\text{輸出品の増加率(\%)} = \frac{\text{優先枠事業の実施によって見込まれる年間の輸出品量(目標)} + \text{現在の年間輸出品量}}{\text{現在の年間輸出品量}} \times 100 - 100$$
 - (農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠)
 交流人口の増加数 = 優先枠事業の実施によって見込まれる地域外からの年間入込客の増加人数
 定住人口の増加数 = 優先枠事業の実施によって見込まれる地区人口の増加人数
- 優先枠の種類は、いずれか該当する方を認めること。
 なお一つの事業について複数の優先枠指標を設定する場合は優先枠指標ごとに当該様式を作成する。
- 事業メニューには、実施要領の別表1の事業メニュー名を記載すること。
- 地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
- 事業内容と優先枠指標の関連性は優先枠指標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。

